

## 実習を終えて

## 保幼2B 清水 奨

責任実習を終えて、一番に感じることは「頑張ってたよかった」という思いでした。前回や前々回の実習の時、僕は事前準備というものをほとんど行いませんでした。その結果、反省会の時に「評価するに値しない」と言われました。その時はショックでどうしたらいいかわからなかったのですが、日が経つにつれ悔しくなっていくのと同時に、自分はなんでこの道を目指しているのだろうか、本当にこの道が自分の道なのだろうかと考えるようになりました。そして1つの事に気付きました。僕はいつの間にか保育士になる事、保育士の資格を取る事が最終目標になっていたのです。僕の目標は保育園の中だけではなく、地域の中で園児や保護者と関わっていけるような保育者になることでした。資格を取る事はその為の手段でしかなかったはずなのに、いつの間にかそれが目的になってしまっていたのです。その事に気付いてから僕は保育や実習に対して考え方が変わりました。



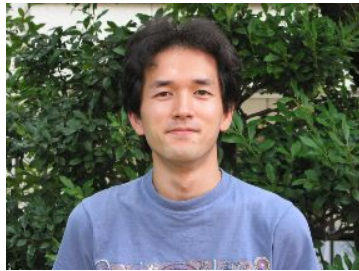
学園記念ホール  
ステンドグラス

その日から実習まで2ヶ月しかありませんでした。しかし、実習までの期間の中で資料などを集め、自分なりにいろいろまとめ、考え、自分で納得できる位置まで行きつく事ができました。自分で考え、納得のいく事前準備をした事で、実習を行う中、保育に対する姿勢も変わった気がしました。そしてそういう努力の結果が出たのか、反省会で良い評価をもらうことが出来たのです。これは本当にやれば出来る！という自信につながりましたし、今後にもきつとつなげていける事だと思いました。

1年生はこれから実習があると思います。時間はたくさんあるようで実はないものです。毎日とは言いませんが、1ヶ月の中で何日かはそういう時間を持つのも良いと思います。残り少ない学生生活を有意義に過ごしてください。

## 教養講座「子どもの成長と人形劇」を見て

## 保幼2A 片倉 康弘



今回、教養講座ということで、人形劇団プークの岡村和彦さんを招き、人形劇について講演をして頂きました。

とてもインパクトのあるちんどん親子の姿での入場に始まり、子どもにとって遊びで育つことの意味、保育に携わる者の役割、人形劇のルーツなど、様々なことを語って頂きました。そして最後には、実際の人形に触れる機会もあり有意義な時間を過ごすことができました。

子どもにとって遊びは大切であり、保育者の役割はそのことを理解し、援助するという事だということがわかりました。今回は、人形というツールが子どもの成長に与える影響について知ることができ、興味を強く抱きました。

大抵の幼稚園や保育所には、人形が置いてあると思います。保育者となった時、ただその人形を出して遊ばせるか、遊ぶことの意味と価値を理解して環境を作るか、とでは大いに意味が違ってくるのではないのでしょうか。

正直のところ、今まで私は、実習などでそこまで深く意識して子どもたちの人形遊びに関わっていませんでした。単に子ども達と関わるためのツールとして使用している節がありました。それも良いのかもしれませんが、この講演を聴いて、これからは、もう1ランク上の視点を持って臨みたいと思います。

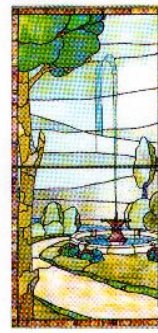
最後に、この度はこのような教養講座を設けて頂き、どうもありがとうございました。



## 夏休み中の工事報告



夏休み中に6号館の雨漏り工事をしました。6-3教室は天井を取り外し、全面改修を行ないました。学生の皆さんには今まで不自由な事も多々あったことと思いますが、今後も良い学習環境作りに努めてまいります。お気づきの点がありましたら事務局までご連絡下さい。



学園記念ホール  
ステンドグラス



Information News

Nichi-On

—創立102周年—

since 1903

# The Campus News

9月号  
2005. 第111号  
編集発行 学園事務局

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

## <9~11月の行事予定>

1年生		2年生	
9/1(木)	授業開始	9/1(木)	授業開始
19(月)	敬老の日(休校)	19(月)	敬老の日(休校)
23(金)	秋分の日(休校)	23(金)	秋分の日(休校)
26(月)~30(金)	前期試験	26(月)~30(金)	前期試験
10/1(土)	開校記念日(休講)	10/1(土)	開校記念日(休講)
3(月)~7(金)	追再試期間	3(月)~7(金)	追再試期間
10(月)	体育の日(休校)	10(月)	体育の日(休校)
12(水)	後期授業開始	12(水)	後期授業開始
28(金)	教養講座「オペラについて」	28(金)	教養講座「オペラについて」
11/3(木)	文化の日(休校)	11/3(木)	文化の日(休校)
23(水)	勤労感謝の日(休校)	23(水)	勤労感謝の日(休校)



行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。

## 2006 日本音楽学校 Australia 海外研修旅行 ~参加者募集~



7月15日に大ホールでオーストラリア海外研修の説明会が行われましたが、まだ参加は可能ですので申込書を事務局に取りにきてください。

日時：2006年3月11日(土)~3月17日(金) 7日間

費用：197,000~207,000円(成田出発)

## 5号館 就職指導室



5号館4階の「就職相談室」が「就職指導室」と名称を変更し、常勤で在室になりました。就職をはじめ、アルバイト、ボランティア関係は直接「就職指導室」へ行くようにしてください。

## 40年ぶりに母校へ!

去る8月5日(金)35度の猛暑の中を、卒業生12人が40年ぶりに学校へいらっしやいました。その方々は、昭和41年3月卒業で、日本音楽高校で現在も音楽の授業をご担当の江守芳子先生の同期生でした。当時の中学校音楽教諭養成科、幼稚園教諭養成科で学ばれ、久しぶりの同期会で全国各地から集まり、箱根へご旅行に行かれる途中、なつかしの母校に立ち寄られたそうです。既に、40年前の学び舎は跡形もなく、新しい建物ばかりに驚かれ、感激され、でも懐かしさ、母校への思いは真夏の太陽以上に熱く、傍らでお話を伺っているだけで、胸熱く、心躍る思いがひしひと伝わってくる1日でした。



## あなたにもできること ～ペイ・フォワード～

学生委員長の穂田と同副委員長の桜井の2人は7月19日極暑のさなかの午後2時、豊町2丁目にお住まいの岡田弘子さん（仮名:80歳）を訪問して、インタビューをさせていただきました。

インタビューを申し入れたきっかけは、岡田さんから届いた一通の手紙から始まります。



『しとしとと降る雨の中で一人の老婆の荷物を持ってくださったあなた様に対して、感謝の念で一杯でございます。息苦しくなるほど嬉しゅうございました。残りの余生は限られております。あなた様にお会いできたことを感謝し、大切にしたいと思っております。良き人生をお送りくださることを心からお祈り申し上げます。』

学生委員会の記事はいつもグレーな内容が多く、誰も食傷気味だと思います。しかし今回、岡田さんからの手紙は日音の学生みんなが持っている心の暖かさ象徴するような文面でした。岡田さんは、私たちが訪問する2日前まで持病の病氣治療のため入院していらっしゃいました。退院直後でしたが、元気にお話しくささいました。

「音楽学校の学生さんはみんな大好きです。若い人は純粹なところがありますね。」

「あの日は雨が降っていました。体の具合が悪いのに、荷物を持って学校近隣のガード下を歩いていた。そうしたら男の学生さんが『荷物をお持ちしましょう。』と声を掛けてくれました。私も荷物が重かったので、つい学生さんに持たせてしまいました。続けて学生さんは『家までお持ちします。』と言ってくれました。」

私は学生さんに『(家は)近いですし、あまりに申し訳ないから・・・。ありがとうございました。つかぬことを伺いますが、あなたはどこの方?』と聞くと、学生さんは『その音楽学校の・・・』と答えてくれました。」

「私は学生さんの親切な言葉を聞いているうちに、感動して泣いてしまいました。そのとき学生さんは『泣かない、泣かない。』と言ってくれました。」

「それからというもの、私はあの学生さんがいつも幸せでいてくれたらなあ。もう一度会ってみたいなあと思っています。」

さらに岡田さんの話が続きました。

「若い学生さんたちに伝えたいことは、感謝されようが、感謝されまいが、困っている人を見かけたら助け、声をかけていくことが大事だということです。しかも『してあげる』という気持ちではなく、『させていただく』という謙虚な気持ち、自分に対する課題意識や人への奉仕の気持ちを持って一歩を踏み出すことが出来れば、あとで自分に帰ってくるものですよ。」と話してくださいました。

まさに映画『ペイ・フォワード』と同じ生き方、同じ世界です。自分が心豊かになりたかったら、少しの勇気、関心をもって他の人と関わることではないでしょうか。

私たちは岡田さんからすばらしいお話を伺って豊かな気持ちになって帰ってきました。日音の学生の暖かい愛に満ちた行為が私たち全員の心に「生きる嬉しさ」を想起させてくれはしませんか。

(学生委員会 穂田 桜井)

☆ 映画『ペイ・フォワード』・・・PAY IT FORWARD (2000年) アメリカ  
人から受けた厚意(親切)を、その相手に返すこと・・・ペイ・バック  
受けた相手に返すのではなく、『次へ渡す』こと・・・ペイ・フォワード

## 入学説明会開催

8月6日午後2時より第3回入学説明会が行われました。最近では在校生からの紹介で説明会に参加し、入学する方も増えています。皆さんの知り合いに志望の方がいましたら是非ご紹介ください。今後の予定は9/10(土) 10/15(土) 11/12(土) 12/3(土) 1/14(土)で、いずれも2時に始まります。

今年度は「リーフレット」を作成し、わかりやすく日音を紹介しています。資料は事務局にありますので希望の方は取りにきてください。



## 日本音楽学校研究紀要(第6号)発行

研究紀要第6号が発行され、下記の論文が掲載されています。図書館でお読みください。

論文タイトル	執筆者
環境指導法の授業における植物標本製作活動の実践と保育活動への応用	今井 正江
保育士養成校における身体表現の授業のあり方に関する考察	穂田 みづほ
「特別支援教育」に対応した保育者養成のあり方についての検討	亀井 哲宏
美術教育における教材の作成について	桜井 剛
表現に関する一考察	三小田 美穂子
幼児教育科専門学校生における観察実習と 本実習での保育者効力感の変化と自己決定動機づけの関係	杉本 信
「親子サロン」における地域に向けての子育て支援の取り組み	富岡 麻由子
保育者養成校におけるピアノ指導に関する一考察(2)	陸路 和佳
欧米児童図書賞受賞作品の分析による絵と文の調和という 絵本の本質に求められる意義についての研究	諸井 泰子
ドラマ教育におけるウォーミングアップのためのゲームやエクササイズに関する研究	山本 直樹 / 大坂 意知

## 研究助成金活動

本校の教員が研究補助事業に応募し、数多くの研究助成金を獲得してきました。この事業では研究テーマに基づいて教育研究を行い、報告書(論文)を提出することが義務付けられています。教員にとっては重要な仕事の一つです。研究助成金は教育研究用図書、教育機材(コンピュータなど)等の購入に充てられ、教育の場でも活用されています。

### 主な研究助成金

事業内容及び 事業団体名	研究課題/目的	教員	年度
専門研究論文(専修学校各種学校協会)	教育の水準の向上と充実を目的とした専門研究、 教材開発研究、学校運営等に関する研究	桜井 剛 山本 直樹	H.16
		桜井 剛 山本 直樹	H.17
学校研究助成事業(東京都私学財団)	都内における私立学校教職員の資質向上、および 教育研究活動の充実を図る	桜井 剛	H.16
		山本 直樹 穂田 みづほ	H.17
		桜井 剛 山本 直樹	
研究症例事業(専修学校教育振興会)	専修学校教育の向上、充実に寄与する	山本 直樹	H.17
専修学校等学術研究奨励補助	教育水準の向上と充実を目的とした専門研究	陸路 和佳	H.17

## 日音同窓会評議員会報告 ～幼児教育部会発足～

7月30日(土)午後4時から学生会館において、同窓会評議員会が開催され、新たに同窓会の傘下として幼児教育部会が発足しました。幼児教育部会長は5月に教養講座「保育の魅力!」で講演していただいた吉澤隆幸先生、副部会長は保育指導法総論の瀬沼幹太先生で最近の卒業生が中心となって活動して行きますので今後の部会の活動にご期待ください。

また同窓会よりパソコン2台、プロジェクター1台が日音に寄贈され、パソコンは図書館2階の閲覧室に設置いたしました。